

胃癌(進行・再発)

2nd Line

PTX weekly+Ramucirumab療法

()コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※
必ず無しを確認

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 28日

使用基準: 開始時; class B、2回目以降; class C

※ 高血圧・血栓塞栓症の患者は慎重投与

※ ラムシルマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。

※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。

《使用薬剤》

パクリタキセル (PTX): パクリタキセル (1V: 30mg/5mL, 100mg/16.7mL)

ラムシルマブ (RAM): ラムシルマブ (100mg/10mL, 500mg/50mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
パクリタキセル	80 mg/m ²	#VALUE!		1, 8, 15
ラムシルマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1, 15

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1	1月1日 (金)	0時00分	内服	レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服
			①	生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg 1V 15分かけて点滴静注
		0時15分	②	生理食塩液 100mL + グラニセトロン 1A 30分かけて点滴静注
		0時45分	③	生理食塩液 250mL + ラムシルマブ mg 蛋白質透過型のフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用する 1時間かけて点滴静注 0.0 mL
		1時45分	④	生理食塩液 100mL 1時間かけて点滴静注 (Infusion reactionの発現がなければ、3コース目以降は省略可)
		2時45分	⑤	生理食塩液 250mL + パクリタキセル mg 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注 0.0ml
		3時45分	⑥	生理食塩液 50mL (フラッシュ)
day8	1月8日 (金)	0時00分	内服	レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服
			①	生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg 1V 15分かけて点滴静注
		0時15分	②	生理食塩液 100mL + グラニセトロン 1A 30分かけて点滴静注
		0時45分	③	生理食塩液 250mL + パクリタキセル mg 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注 0.0ml
		1時45分	④	生理食塩液 50mL (フラッシュ)

day15 1月15日 は 1月1日 と同様に行う 1月22日 は休薬

※ ①と③の間は少なくとも30分間隔をあけて投与

REFERENCE

Hansjochen Wilke, Kei Muro, Eric Van Cutsem, et al: Lancet Oncol 2014;15:1224-35

Ramucirumab plus paclitaxel versus placebo plus paclitaxel in patients with previously treated advanced gastric or gastro-oesophageal junction adenocarcinoma (RAINBOW): a double-blind, randomised phase 3 trial

2015年7月度化学療法プロトコル委員会承認: 2015年7月13日